

「幸せ」へのステージアップを全力サポート

本多紀子さん

—本多さんはいくつもの顔をお持ちだとお聞きしていますが、主にどのような仕事をされているのでしょうか？



そうですね。分けるとすれば、3つの仕事があります。

ひとつ目は、リーディングセッションでその方の課題や次のステージへの後押しをする「開運の家庭教師 マダム noriko」のメニュー。経営者や個人事業主のパートナーとして、ビジネスコンサルティングもお受けしています。

2つ目は、「花風水で空間をパワースポット」にする「atelier Lino」のお仕事。風水に基づいてデザインした、アーティフィシャルフラワーアレンジの制作販売とお教室をしています。

3つ目はファイナンシャルプランナーとしての顔ですね。こちらはもう30年近くになります。

—なんだか、すごく幅広いですね……。

そう感じますか？ときどきそういった感想を受けるのですが、私自身はそんな風に思ったことがないんですよ。どれも同じ源泉から出てきているので。

—同じ源泉？

そうです。「その方が幸せになる方法を全力で探す」ということですね。そこに尽きます。幸せの形はそれぞれ違うので、その人のために私が力になれることをさせていただいているだけなんです。リーディングセッションで人生の課題などを見ていくのも、花風水で目に見えない気やエネルギーを整えるのも、ビジネスコンサルで孤独な経営者のパートナーとして伴走することも、すべて目的は、その人の「幸せ」ですから。

—ああ、確かにそうですね。クライアントが抱えている課題は違っていても、求めているものは「幸せになること」に行き着くというのは、分かる気がします。そこで聞いてみたいのですが、それぞれが「幸せ」を求めながら、どうしてそれを手に入れるのが難しいのでしょうか？悩んだり、迷ったり、苦しんだりする人がこうも多いのは、何故だと思われませんか？

これまでに多くの方と関わらせていただいて感じるのは、「エネルギーが詰まっている」ということですね。その詰まりを取り除くことができれば、皆さん本来の状態でどんどんステージを上げて行かれます。

—エネルギーが詰まっている？

例えて言うなら、枯れ葉の溜まった雨樋のようなものです。そのままだと、雨水がそこでせき止められて、途中で溢れてそこから漏れてしまいますよね。でも、枯れ葉がどこに溜まっているのかを突き止めることができたなら、それを取り除くだけで本来のスムーズな流れが回復します。人も全く同じ。悩み、苦しみ、停滞しているときは、エネルギーが流れず、循環が起きていないということです。そんなときに「詰まり」から目を逸らして、見当違いの努力をいくら続けても何も解決しません。まず、どこに、どんな枯れ葉が溜まっているかが分かれば、対応することができますよね。

—なるほど、分かりやすいですね。では、本多さんの経験から、どんな枯れ葉を溜め込んでエネルギーを詰まらせている方が多いと思われませんか？

こればかりは一人、一人、まったく違いますね。ある人にとっては、お金の問題かもしれま

せん。また別の人は、仕方ないと我慢し続けてきた家族関係の場合もあるでしょう。ただ、敢えて大きく括るなら、詰まりの原因の8割は人間関係にある気がしています。いずれにしても、向き合うことを避けてきた「何か」が詰まりとなって、さまざまな問題となって表れているのです。

—では、その詰まった枯れ葉を本多さんはどのように取り除いているのですか？

自分自身を静かに俯瞰しながら、客観的に見つめてもらいます。そうすることで、考え方が偏っていないか、トラブルを引き起こすような在り方をしていないかという「詰まり」の原因に自ら気付けるようになります。クライアントさんの課題、状態に合わせて、そのようなワークに取り組んでいただきます。

覚えておいてほしいのは、こうした気づきは少しずつ起きていくということです。変化は一瞬で起こったりしない。それまで何年も、人によっては何十年もかけて培ってきた習慣ですから、一瞬で変化するほうが不自然ですよ。

—確かにそうですね。「一瞬で…」とか「魔法の…」といったキャッチコピーの付いたものは、たいてい眉唾ものですし（笑）。では、時間をかけて自分を見つめ、エネルギーが流れ始めると、現実もどんどん変わっていくのですか？

自分自身への気づきが深まれば、周囲の見方や出来事の受け止め方が変わっていきますので、当然、現実に変化が起きてきます。例えば、トラブル相手を「どうにかしてやろう」と思っていた人が、自分も相手も幸せになれる解決策を考え始める、ということはよくあります。感情にどっぷり浸かっていた状態から出て、俯瞰できるようになれば、対処する方法が見えてきます。そうした変化は自然に起こりますね。そして、運もよくなっていきます。

—気づきが深まると、運も良くなる？

そうです。「運は自分持ち」だと私は考えています。人からもらうものじゃない。自分で創っていくものなんです。自分がどんな状態にあるのか、自分で把握していく。自分を整えて、ぶれていたら軌道修正する。そのようにして「いま」を整え続けるのです。

—「運は自分持ち」。いい言葉ですね。内側から力が湧いてくるような感じがします。

本当に、運は自分次第なんですよ。例えば、未来の選択肢は無限にありますが、どの未来を選ぶかは常に「いま」の自分に掛かっています。どんな生き方をしたいのかをはっきり描いて、瞬間、瞬間、より望ましい未来を選び続けていく。そうした在り方が自然と運を創っていくのです。



—確かに、「いま」の状態を選んでいるのが自分なら、よりよい未来も選べるはずですね。

ええ。ステージが変わるといのは、そういうことなんです。自分を俯瞰し、内側を整えるなら、より良い選択肢が見えてくるようになります。

もしクライアントさんにとって、よりよい未来のために法的な知識が必要なのだとしたら、そのときには30年近いFPの知識を総動員して力になります。弁護士の知り合いも多いので、現実的なステップを踏み、優先順位を付けながらスマートに対応していきます。

—心理面だけでなく、社会的にもしっかりサポートできるというのは非常に心強いですね。

何を、どうしていけばいいのかという道筋をはっきりとクライアントさんにお伝えすることは、私のひとつの特徴ですね。フワフワしたことだけ言っておしまい、という関わり方では意味がないと考えているので。現実には、どんな方法を試していけばいいのか、クライアントさんの幸せに繋がるなら、私にできることは出し切ります。これからも、もっとクライアントさんに喜んでもらい、もっと幸せな世界へ引き上げられるように、私も自分を整え続け「愛ある言葉」をお届けしてまいります。